

平成 29 年 9 月 21 日

北海道新幹線津軽蓬田トンネルにおける湧水中和処理施設で発生した事象について

本日 2 時 50 分頃、北海道新幹線津軽蓬田トンネルの湧水に含まれるアルカリ成分を中和するための処理設備において異常アラームを検知したため、関係社員が現地を確認したところ、中和処理装置が停止していることを確認しました。

原因は、東北電力からの受電電圧が低下したことにより、中和処理施設への電源供給に何らかの不具合が発生したためと考えております。

なお、中和処理後の排水は河川(瀬辺地川)に放流しているため、排水地点における水素イオン濃度(pH)を測定したところ、6 時 52 分の時点では、pH8.77(基準値超)でありましたが、現在は、中和処理装置の復旧作業が完了し、基準値以下となっています。

[住 所] 青森県東津軽郡蓬田村大字瀬辺地字田浦

[許容限度] 水素イオン濃度 (pH)

[排水基準を定める省令 昭和 46 年 6 月 21 日総理府令第 35 号]

海域以外の公共用水域に排出されるもの 5.8 以上 8.6 以下